

## 地域密着型通所介護「リハビリデイサービスまな」

### 運営推進会議 議事録【第10回（書面開催）】

日時：令和3年2月 書面開催	場所：リハビリデイサービスまな
-------------------	-----------------

ご利用者様 A様	地域代表 C様	武蔵野市職員	代表	事業所職員	
ご家族様 B様			相談員		

<p>◆議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用状況について（R3年 1/1 現在）                      利用者の年齢分布 男女比                      介護度分布 家族構成 等</li> <li>2. まなの活動内容                      昨年4月から理学療法士の常駐が無くなり、毎回の個別機能訓練は実施無しとなったが、レッドコードでの体操、マシーントレーニングを主としたプログラムで習慣的な運動の場とし、利用者の生活動作・機能維持を図っている。</li> <li>3. 新型コロナウイルスによる影響、対応等                      スタッフ・利用者ともマスク着用を基本とし、来所持の手洗い、適時手指消毒、玄関ドアを閉め切らずに常時換気等の基本となる対応を実施中。</li> <li>4. ご意見・ご要望</li> </ol>	<p>◆議事内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 登録人数の減少傾向が続いている。利用者年齢構成は80代後半が一番多くを占める点も変わらず、平均年齢は80.5歳。男女比がこれまでは男性の方が多い事がほとんどだったが、今回女性の人数がやや上回った。要介護度別の割合も大きな変化は見られない。家族構成の面では独居・夫婦のみ世帯が各々3割強を占める点も変わらず、家庭内介護力の低下傾向が引き続き窺える。</li> <li>2. 基本の活動プログラムは変わらず、昨年4月の縮小時に中止者が数名出る事があったが、以降も継続利用されている方は変わらずマシーントレーニング等に意欲的に取り組まれている。</li> <li>3. 昨年前半の緊急事態宣言時はコロナ不安での欠席者が10名程出ていたが、昨年末の感染拡大（年明けの緊急事態宣言）時は1名に留まった。利用されている方も不安感はあるようだが基本の感染予防が習慣として根付いてきており、ここ最近では個人差はあるものの昨年前半よりは落ち着いて捉えられている方が多いように思われる。</li> <li>4. コロナへの対応が引き続き必要で大変かと思うが、安心できる環境の継続をしてほしい。登録者数の減少は時世的に仕方ないかもしれないが、プログラムの検討や情報発信が必要か。コロナ禍で外出が減り、他の方と会う機会も無くなっているため、デイでお話を色々できるのはありがたい。感染防止・事業継続が喫緊の課題と思われるが、市役所等の公的機関との情報共有を適時行いつつ、引き続き対応してほしい。 等</li> </ol>
---	--